

平成17年度

# MARUSEN

SPORTS&CULTURE マルセン

2号



財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団

## 【も く じ】

ごあいさつ .....	1
財団の概要 .....	2
役員・評議員名簿 .....	3
平成17年度事業報告 .....	4
第1章 助成事業関係 .....	4
1 スポーツ活動に対する助成 .....	4
2 文化活動に対する助成 .....	5
3 晴れの国おかやま国体 .....	5
第2章 表彰事業関係 .....	6
1 スポーツ大賞・スポーツ賞 .....	6
2 文化大賞・文化賞 .....	6
第3章 イベントの開催 .....	7
第4章 贈呈式 .....	7
第5章 受賞者からのコメント .....	8
1 表彰 .....	8
2 イベント .....	16
第6章 スポーツ・文化に関する広報、啓発事業 .....	17
1 ホームページの開設 .....	17
2 広報誌 「マルセン」2号の発刊 .....	17
3 ロゴマークの募集結果 .....	18
資料 .....	
1 事業の記録 .....	19
2 平成16年度収支決算書 .....	20

## ごあいさつ



財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、お陰さまをもちまして2年目を迎えることが出来ました。このことは一重に皆さま方の暖かいお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年3月に創刊号を発刊して以降、世の中はめまぐるしく進展を続けており、平成の大合併により岡山県内の市町村数も78市町村から32市町村に激減しており、変化に対応する新たな動きの中で、当財団では、県民の皆さまに少しでもスポーツ・文化活動にお役に立てますよう活動助成事業や表彰事業等により微力ながらもお手伝いをさせていただいてるところでございます。

このたび、活動の記録として、「マルセン」第2号の発刊の運びとなりました。ご高覧のうえご指摘を賜れば幸いに存じます。今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう更に努力を重ねてまいりますので、引き続き皆さまのご指導及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年3月

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団  
理事長 千 原 多 美 子

## I 概 要

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て設立されました。

当財団は、寄附行為第3条で、その目的を「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を図るとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現」と規程し、その目的達成のため次の5項目

- (1) スポーツ・文化活動に対する助成
- (2) スポーツ・文化活動に対する表彰
- (3) スポーツ・文化に関するイベント等の開催
- (4) スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

を定め活動を開始しております。

## II 沿 革

- 平成16年 2月27日 岡山市富町二丁目4番4号に事務所を設置
- 平成16年 3月26日 初代理事長に千原多美子就任
- 平成16年12月14日 第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
- 平成16年12月23日 第1回スポーツイベント 第23回山陽女子ロードレース大会
- 平成17年 2月28日 晴れの国おかやま国体へ助成
- 平成17年 3月11日 第1回文化イベント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会チケットプレゼントの実施
- 平成17年 7月14日 晴れの国おかやま国体への助成(2回目)
- 平成17年 8月 3日 第2回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
- 平成18年 1月13日 財団のロゴマークの選考・決定



## 役員・評議員名簿

### 【役員名簿】

平成18年1月31日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名
理 事 長	千 原 多美子	(株)成通 取締役
常 務 理 事	千 原 秀 則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理 事	大 林 一 友	(株)香川銀行 名誉顧問
〃	加 計 孝太郎	学校法人 加計学園 理事長
〃	川 崎 誠 治	学校法人 川崎学園 副理事長
〃	佐々木 勝 美	(株)山陽新聞社 代表取締役社長
〃	萩 原 誠 司	衆議院議員
〃	吉 岡 洋 介	(財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長
〃	千 原 行 喜	(株)成通 代表取締役社長
監 事	衣 笠 和 孜	岡山県スポーツ指導者協議会 理事
〃	信 朝 寛	(株)トマト銀行 監査役

### 【評議員名簿】

役 職 名	氏 名	会 社 名
評 議 員	馬 越 績	馬越績税理士事務所 所長
〃	大 倉 徹 彦	山陽放送(株) 代表取締役社長
〃	加 畑 公一郎	(株)瀬戸内海放送 取締役岡山本社代表
〃	越 宗 孝 昌	岡山県ケーブルテレビ振興協議会 会長
〃	須 賀 勝 彌	岡山放送(株) 代表取締役社長
〃	砂 田 治 男	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
〃	平 松 掟	平松弁護士事務所（元日本弁護士連合会副会長）
〃	松 岡 俊 郎	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
〃	藤 田 土 義	(有)ミスター・メンテナンス 代表取締役社長

五十音順 敬称略

# 平成17年度事業報告

## ◆第1章 助成事業関係◆

### 1 スポーツ活動に対する助成〈応募総数 34件 採用件数 10件〉

番号	団 体 名 等	活 動 名	活 動 目 的
1	NPO法人瀬戸内探検隊	海は友達 ～海底探検&海洋学習～	シュノーケル体験・海中、海岸清掃・栽培漁業センターの見学会を通して海への理解を深める。
2	大 埴 和 子 も 会	大 埴 和 子 も 会	少人数のため、団体活動をするのが少ない。子ども会での活動を通し、団体で遊ぶ楽しさや協力をする心を育てる。
3	岡山県剣道道場連盟	第28回岡山県 少 年 剣 道 練 成 大 会	剣道を通じての健全な青少年育成と正しい少年剣道の普及。
4	岡山県青少年の島 運営委員会	家 族 キ ャ ン プ	青少年自らが自主運営し、キャンプ活動を通じて青少年の健全育成に寄与する。
5	岡山県 パワーリフティング協会	岡山から世界のトップへ ～老若男女で楽しめる パワーリフティングの魅力～	パワーリフティングの普及を通して、県民の健康の増進と国内外の大会へのチャレンジによって、県民に目的意識と夢を与える。
6	加美スポーツ少年団	ソフトボール・サッカー・ バレーボール	加美地区スポーツ少年団の活動、特に女子が取り組むバレーボールが力をつけてきたのでユニフォームの整備を図る。
7	護 身 体 術 育 英 会 (TSK)	護身体術の練習及び普及	護身体術の使用による「護身」「体を守ること」を習得し、もって青少年の健全育成と老若男女を問わない精神力と体力の向上を図る。
8	スペシャルオリンピックス 日本・岡山	SO西日本ブロック競技会 選手団派遣	知的発達障害のある人々が自立と社会参加を目指して、スポーツプログラムの実施と成果を発表する場への派遣。
9	全日本少年硬式野球連盟 岡山県所属 オ ー ル 岡 山 チ ー ム	第23回 少年硬式野球桃太郎杯大会	硬式野球を通じて少年の健全育成を目的として練習を重ね、大会に参加することでその成果を体感させる。
10	高梁川 スポーツフェスティバル 実行委員会	第7回高梁川 スポーツフェスティバル2005	川の日の一環として河川及び河川敷でのスポーツの祭典を開催する。

2 文化活動に対する助成〈応募総数 24件 採用件数 10件〉

番号	団 体 名 等	活 動 名	活 動 目 的
1	NPO法人 倉敷ジュニアフィルハーモニー オーケストラ	3都市ジュニアオーケストラ交流演奏会	音楽を通じた青少年の健全育成・地域の音楽文化の向上・芸術文化による都市交流を図る。
2	NPO法人 ハート・オブ・ゴールド	岡 山 県 大 学 ス ポ ー ツ 国際協力活動	国際ボランティアの理念を学び、実際にカンボジアにて体験することで、世界の中の日本を発見すると共に、自分自身の価値と学ぶ目的を再発見する。
3	おかやま絵本原画祭 実行委員会	第2回おかやま絵本原画祭	県民の豊かな心の育成(読書推進・豊かな子育て環境づくり・ネットワーク形成)
4	岡山県読書推進運動協議会	1日こども図書館フェスティバル	地域(図書館未設置市町村)において読書に係わる様々な活動を実施し、本に親しむ機会を提供することで、本や読書に対する関心や興味を喚起するとともに地域における読書活動の推進を図る。
5	笠岡市立 竹 喬 美 術 館 友 の 会	楽しむNight講座 「 岡 山 の 美 術 ― 近 代 」	土曜の夜のひとときに、岡山の近代美術を斬新な切り口で味わう。
6	国際海岸環境教育会議	第 8 回 全 国 海 岸 清 掃 ロボットコンテスト	「環境教育」「ものづくり」「人づくり」のイベント
7	(財)岡山市 スポーツ・文化振興財団	岡山三曲ジュニア育成事業	日本伝統音楽を愛する子ども達に演奏を通じて情操を養い、練習の成果を皆様に聞いていただくことにより伝統音楽への関心や素晴らしさを伝える。今後の邦楽発展に努める。
8	鳥 羽 踊 り 保 存 会	鳥 羽 踊 り 保 存 会 児 童 交 流 事 業	当地域に古くから伝わる郷土芸能を先人が残した貴重な財産と思い、今後とも特に若い人に継承・伝達に努めたい。
9	新 見 美 術 館	新市施行・新見美術館開館 15周年記念特別展Ⅲ ～放浪の天才画家～山下清展	県民・市民はもとより、特に将来を背負って立つ子ども達に、夢を与えたい。
10	やまなみ混声合唱団	みんなで歌おう 童 謡 ・ 唱 歌 コ ン サ ー ト	童謡・唱歌を歌いついでいくコンサート等のイベント開催

3 晴れの国おかやま国体 助成金 壹百萬円

## 1 スポーツ

- マルセンスポーツ大賞(副賞/100万円)
  - ・水 鳥 寿 思 〈体操競技〉  
特定医療法人 徳洲会  
アテネ五輪体操男子団体に優勝。吊り輪競技の一番手として登場し、高得点(9.625)を出して28年ぶりの団体金メダルの獲得に貢献した。
- マルセンスポーツ賞(副賞/30万円)
  - ・石 本 直 樹 〈ベンチプレス競技〉  
自営業  
'04世界マスターズベンチプレス大会マスターズ男子82.5kg級で優勝した。
- マルセンスポーツ賞(副賞/30万円)
  - ・諸 見 里 しのぶ 〈ゴルフ競技〉  
江連 忠ゴルフアカデミー  
第59回国民体育大会ゴルフ競技少年女子団体2位、個人3位。  
全国高等学校ゴルフ選手権大会春季優勝。
- マルセンスポーツ賞(副賞/30万円)
  - ・横 山 純 子 〈陸上競技〉  
岡山市立吉備中学校教諭  
陸上部女子の監督として、平成14年度から16年度県中学校総体女子の部3年連続優勝  
(平成11年度から6年連続で全国大会出場)するなど卓越した指導力を発揮している。

## 2 文 化

- マルセン文化大賞(副賞/100万円)
  - ・小 川 洋 子 〈文芸 小説〉  
小説家  
『博士の愛した数式』が2004年読売文学賞を受賞。  
さらに、第1回本屋大賞を受賞するなど岡山出身者として、岡山県民に感動と喜びを与えた。
- マルセン文化賞(副賞/30万円)
  - ・石 田 宗 之 〈美術 洋画〉  
会社員 洋画家  
2004年「受其環珞分作二分」日展特選(2回目)を受賞。  
観音経を基にした象徴性に満ちた精神世界を描き続けている。
- マルセン文化賞(副賞/30万円)
  - ・はやし田植え保存会 〈無形文化財 伝統芸能〉  
新見市哲西町  
戦後における社会構造の変化の中で、伝統芸能の保存・伝承が困難となっているが、学校教育との連携を図りながらはやし田植えの伝承に取り組んでいる。
- マルセン文化賞(副賞/30万円)
  - ・濱 坂 渉 〈美術 彫刻〉  
倉敷芸術科学大学教授  
「日向現代彫刻展2004」で石彫作品「舟の中の舟・Ⅱ」が大賞を受賞。  
学生を指導する傍ら彫刻家として活躍中。

### ◆第3章 イベントの開催◆

#### ○スポーツ

岡山・桃太郎アリーナ落成記念「オリンピックメダリスト体操競技演技会」 協賛

平成17年6月5日(日)

第24回山陽女子ロードレース大会 協賛

平成17年12月23日(金・祝)開催

備前市えびす駅伝競走大会 協賛

平成18年2月11日(土・祝)開催

#### ○文化

松本 和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタペ」

平成17年4月30日(土)19時より 岡山シンフォニーホール 100名招待

岡山市デジタルミュージアム開館記念 「新シルクロード展」

平成17年10月21日～12月18日 開催 100名招待。

あそべる!おもちゃ展 協賛

平成18年2月17日～22日 岡山市デジタルミュージアムで開催

### ◆第4章 贈呈式◆

と き 平成17年8月3日(水) 午前11時より

ところ ホテルグランヴィア岡山 「クリスタルの間」

#### 式次第

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 開式        | 5. 助成金交付式 |
| 2. 挨拶        | 6. 来賓祝辞   |
| 3. 表彰状及び副賞贈呈 | 7. 閉式     |
| 4. 受賞者謝辞     |           |



## ○スポーツ大賞

### スポーツ大賞受賞にあたって



水鳥 寿思

私が岡山に住んでいたのは高校三年間だけだったのですが、こうして素晴らしい賞をいただけたことにとても感激しています。

体操がうまくなりたい一心で静岡から関西高校へと進学したことは、私の体操人生において基盤になった三年間だと思っています。将来を期待できるようなものを持っていたわけではなかったのですが、恩師である本庄先生、藤原先生が粘り強く熱心に指導して下さいました。そうした熱心な指導のおかげで、三年生の頃から結果が出始めました。そして決して順調な道のりではなかったものの、アテネオリンピックに出場し団体金メダルを獲得することができました。高校三年間という大切な時期を関西高校で学んだということは、どんな選択よりも良かったと確信しています。それと同時に、お世話になった先生方やチームメイト、送り出してくれた両親にとっても感謝しています。

次の最大の目標は北京オリンピックです。アテネメンバーは全員北京オリンピックを目指し、若手の成長もあって代表争いはアテネの時よりもハイレベルになることと思います。さらに体操王国である中国での開催ということもあり、メダルを獲ることは容易ではありません。そのなかでも勝ち抜いていけるように、さらに高いレベルを目指して練習に励んでいきたいと思っています。

## ○スポーツ賞

### スポーツ賞を受賞して



岩崎BC津山 石本 直樹

この度は、第2回マルセンスポーツ賞の授賞、誠に有難うございます。この栄えある賞を頂き、身の引き締まる思いと同時に、尚いっそうの努力精進を重ねて、目標の世界マスターズベンチプレス大会M1・3連覇と、世界記録の更新目指し頑張るつもりです。

私が歩いてきた道を振り返り見れば、誠に多くの先輩、仲間に支えられ、また、助けられた思い出でいっぱいです。どちらかと言うと細くて、力持ちとは無縁の体つきであった私ですが、憧れと理想を胸に掲げ続け、仕事で疲れた身体で毎夜ごと仲間と集まり、バーベルのシャフトが削れるほど握み、押し続けました。『努力は私を裏切らない。』と信じ16年間、晴れの舞台世界大会に押し上げてくれた先輩や仲間、一人一人の気持ちが必死で戦う私の力となり、もちろん家族の強力な応援も背に、最良の結果をスロバキア・チェコの2カ国より2年連続で持ち帰ることが出来ました。今の私の力は周りの人に授かり、そして磨かれたものと感謝すると共に、このマルセンスポーツ賞も仲間と共に頂いた荣誉だと、重ねて感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりましたが、財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団のますますのご繁栄をお祈りし、私のお礼のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

## ○スポーツ賞

### マルセンスポーツ賞を受賞して



諸見里しのぶ

第2回、マルセンスポーツ・文化賞にてスポーツ賞を授かり心よりお礼申し上げます。  
表彰式に出席することが出来ず、本当に申し訳ありませんでした。

今回の表彰式の日、私自身プロゴルファーとして最初の仕事…プロテスト合格者研修に出席していましたので、岡山に戻ることが出来ませんでした。

私にとって岡山は第2の故郷です。その故郷でプロとして初めて表彰していただいたのがマルセンスポーツ賞です。大変光栄に思います。スポーツ振興にご尽力を下さっていますマルセンスポーツ財団の皆様、そして第2の故郷でもあります岡山県の皆様にあらためましてお礼を申し上げます。

表彰式から5ヶ月の日々が過ぎました。05年度は私自身に近い目標を設定し、ひとつひとつクリアしていくことを設定しJLPGAツアーに出場してまいりました。

プロテスト合格まではアマチュア参戦し、優勝を目標に頑張りましたが…残念な結果になりました。しかし、目標を設定し直しアマチュア最後の試合『日本女子ゴルフ選手権』を制覇することに切り替え目標を達成することが出来ました。プロツアーで優勝争いが出来たことにより自信にも繋がりました。その一方でプレッシャーとの戦いもありましたが打ち勝つことが出来たので大変うれしく、次の目標設定を掲げることが出来ました。

『JLPGAプロテストのトップ合格』です。しかし思った以上にプレッシャーがかかり、トップ合格を成し得ませんでした。次の目標を設定するには2つの選択肢があり、欲張りかもしれませんが…その2つの目標をクリアしようと思い戦ってまいりました。

1つ目は『JLPGAツアーシード権の確保』です。プロテストにトップ合格出来なかったので日本女子オープンを含む3試合でシードを決めなければなりませんでした。苦しみながらも最後の試合で決めることが出来たので、もう1つの目標にチャレンジする勇気変わったように思います。それは『USLPGAツアーのクオリファイングテストでUSツアーの出場権を確保する』ことです。悔しい思いを沢山した分、練習を重ね精進し、クリア出来て本当に嬉しく思います。

沖縄から岡山に来たときは慣れない環境で不安にもなりましたが、おかやま山陽高校の校長先生をはじめ、先生方、友人、何よりも岡山の皆様にいつも声をかけて頂き励まされて、今の私があると感謝しています。プロ選手として充実したスタートが出来ました。岡山が育てたプロゴルファーとして恥ずかしくないような選手でいたいと心に刻み、『夢と感動を与えられる選手』になれるようにこれからも精進してまいります。

私のプレーを見て、ジュニアゴルファーやスポーツを愛する人たちに少しの時間でも幸せに感じられるような、そんな選手でいたいと思います。06年はアメリカでの試合がメインではありますが、日本のツアーも最低7試合は出場します。日本とアメリカの試合で1勝を上げることが来期の目標でもあります。第2の故郷、岡山の皆様に良い報告が出来るように頑張ります。これからも変わらず応援のほど宜しくお願い申し上げます。



## ○スポーツ賞

### 受賞にあたって



岡山市立吉備中学校 陸上部  
顧問 横山 純子

この度は、第2回マルセンスポーツ賞をいただきありがとうございました。

好きなことを一生懸命やって、このような賞をいただけるとは、本当に幸せ者と思っています。今後さらに努力を重ね頑張っていかなければならないと感じています。

陸上競技に選手として取り組み、没頭していた時期もありましたが、自分自身の能力の限界を感じ、陸上競技から遠ざかっていました。中途半端な形で陸上を辞め、心のどこかに置き忘れたものがありました。最初の赴任校では、陸上部もなく他の部の顧問をしていたこともありましたが、御南中学校に転勤し、陸上部の顧問となり再び陸上と向き合うことになりました。

選手ではなく指導者として、生徒たちと同じ目標を追うことに、新たな喜びを感じるようになりました。同時に指導者としての難しさも実感するところとなりました。

御南中学校、桑田中学校、そして現在の勤務校・吉備中学校において、たくさんの保護者の方々、また学校関係者の方にご支援、ご協力をいただきました。この場を借りて、心から感謝申し上げます。

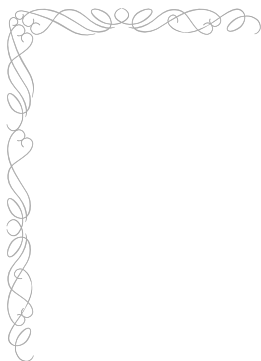
それぞれの学校で素晴らしい才能を持った生徒に、次々に出会えた好運をあらためてうれしく思います。また全国大会には今年で9回出場させていただきました。全国の舞台で勝負できるようこびは大きいですが、難しさも大きく感じています。

御南中学校時代には、私の指導力不足から、選手に力がありながらも、その力を出しきれずに卒業していった選手がたくさんいます。この生徒達のおかげで得た経験が、今大きく役に立ち、私自身を成長させてもらっているように思います。伸ばしてやれなかった選手に報いるためにも、この経験を財産として、これから出会う選手にいかしていかなければならないと思います。

あとどれぐらいの期間、指導できるかはわかりませんが、一日一日を大切に、生徒と共に夢を持って取り組んでいきたいと思っています。

ありがとうございました。

## ○文化大賞



### 書き続ける決意



小川 洋子

初めて本を出させていただいてから、早くも十七年が過ぎました。自分の本が本当に並んでいるかどうか、倉敷の駅ビルにある本屋さんへ確かめに行ったことをよく覚えています。それはいかにも弱々しく、心細げに、書棚の片隅に一冊だけぼつんと置かれていました。その時ようやく、自分の生きるべき場所を見つけたような感激を味わいました。

以来、ずっと変わらず、私は小説を書き続けてきました。毎日毎日、書きかけの小説の前に座る。私がしてきたのは、そんな当たり前のことだけです。言い換えれば、それより他には何もできなかったのです。

にもかかわらず、私の作品にお目を留めていただき、本当にありがたい気持ちで一杯です。一人閉じこもっていた狭い仕事部屋に、外の世界から、一筋温かい光が差してきたようです。それは自分の書いた小説が、きちんと読者の皆さんの元へ届いていることを、知らせてくれる光でもありました。

文学が果たす役割は、直接目に見えず、数字ではかることもできません。さまざまな文化の中にあって、地味で静かな存在です。しかし人間の心を豊かにするために、どうしてもなくてはならないものです。今回、この素晴らしい賞をいただけたことを励みに、更に書き続けてゆかなければ、という決意を新たにしています。

最後になりましたが、マルセンスポーツ・文化振興財団の皆様、ご尽力いただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



## ○文化賞

### 受賞にあたって

石田宗之

過日、平成17年夏の吉日におきましては、財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団より、思いもよらず大変な賞を受賞させていただき誠にありがとうございました。身に余る光栄と同時に身の引き締まる思いであります。これもひとえに、御支援、御厚情を賜りました方々のおかげと厚く御礼申し上げます。今でも小生のような者がこのような立派な賞を頂いてよいものかと、大変恐縮な気持ちであります。

振り返りますと、平成16年に2度目の受賞となりました日展特選は、小生の中では大きな節目であったような気がいたします。大学生の時、恩師に勧められて公募展に出品し始めて以来、紆余曲折しながらも自分の描きたい世界を模索してまいりました。入選落選に一喜一憂しながらも、奈良や京都の寺院、あるいは多くの展覧会場で感銘を受けた仏教美術の素晴らしさを、現代という「今」の時代に反映させ融合させることが、幸せな創造性のひとつでもありました。2度目の日展特選と、その後の公募展での受賞、そしてこの栄えあるマルセン文化賞の受賞は、そうした創作活動に対する大きな励ましであり、励みとなりました。

まだまだ道半ばでございます。この受賞に恥じることのないよう、一層精進いたす所存でございますので、今後とも一層のご高誼を賜りますよう心からお願い申し上げます。簡単ではございますが、貴財団の益々のご繁栄を御祈念申し上げ、御礼の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## ○文化賞

### 「マルセン文化賞」の受賞にあたって

新見市哲西町「はやし田植え」保存会

会 長 佐々木 豊

このたび、栄えある「第2回マルセン文化賞」をいただいたことは、伝統芸能である「はやし田植え」の伝承活動にとりまして大きな喜びであります。

田植えは、農作業の中でも大変な労力のいる仕事で、昭和30年頃までは太鼓を打ちながら田植え唄を歌い、そのリズムに合わせて稲の苗を手で植えていました。楽しく作業することで体の疲れを癒し、田の神を讃え、秋の豊作を願って「はやし田植え」が行われていました。しかし、農業の近代化によって、次第に田植え太鼓の音が聞かれなくなりました。

昭和51年4月。「はやし田植え」を地域の伝統文化として、未長く伝承することをめざして保存会を組織しました。現在の会員数は、大人34名・子ども10名の計44名であり、子ども10名には太鼓を打つ人（さげ）に小学生と中学生の2名と稲の苗を植える人（早乙女）に小学生と中学生の8名が後継者として頑張っています。

西の尾瀬と言われている新見市哲西町の鯉が窪湿原に、春を告げるリュウキンカの花が咲きそろふ5月3日の哲西町「鯉が窪湿原まつり」には、田んぼでは牛の代かきに続き「はやし田植え」を行ない、県内外から訪れる8千人近い人々に伝統芸能のすばらしさを楽しんでもいただいています。

また、「干子花田植え」では、訪れた人々が加わっての田植えをしています。

昭和52年からは、毎年岡山後楽園の「お田植え祭」に参加をし、地域のイベントには積極的に取り組んでいます。

特に、小学校教育の稲作り学習では、児童とはやし田植えの交流を行い、田植えの体験とともに地域の伝統文化のすばらしさを大切にする態度を培っていただいています。

「はやし田植え」保存会では、このたびの受賞を契機に、より一層会員が研鑽しはやし田植えの伝承に努め、地域文化の発展に寄与したいと思います。

## ○文化賞

### 彫刻家の生きる場所



濱坂 渉

このたびは栄えある第2回「マルセン文化賞」に選んでいただいたことに、お礼を申し上げたいと思います。

はじめて、岡山県に来て、彫刻の作品を造ったのは1991年の「かさおか彫刻シンポジウム」で今から14年前でした。岡山県に在住することになったきっかけは、現在勤務しております倉敷芸術科学大学の開学時に静岡県の浜松市より赴任して以来で、すでに11年が経過しました。芸術科学部美術学科の一期生を迎え、新しい気持ちで彫刻コースの授業に取り組んだのが昨日の様に思います。

倉敷の街にはすばらしい芸術作品のコレクションを持つ大原美術館があり、彫刻など美術を志す者にはまったくすばらしい環境です。こちらにまいりました時は阪神淡路大震災の直後でした。赴任した年はとにかく最小限の家財道具と自分だけが引越しし、大学の宿舎になっていたアパートにはいました。そして作品を保管するための場所の確保に1年を費やしました。しかしその後の2回目の引越しは大変でした。それまで造りためた作品やら材料やらが10t車3台分を超過していました。

倉敷市の郊外の標高300mの山頂の農地に仮設現場事務所とトレーラーハウスを仮の住居としトラックのアルミコンテナを作品の倉庫として住みはじめ、仕事場としました。石彫の制作につきものの騒音やホコリも、人家から離れた山頂は苦情などの少ないもっとも都合の良い場所です。2年前に農家住宅と農業倉庫兼展示スペースを若い建築家に設計を依頼し新築しましたところ、2005年の5月にモダンリビングと言う雑誌の表紙になってしまい、見学者が大勢来ることになりました。

作品の造る場所、保管する場所、さらに常設展示する場所というのは画家に限らず彫刻家にとっても非常に重要ですが、一時は大学で制作していました。授業の合間や土曜日も日曜日も制作するので気分転換が出来なくて困っていました。彫刻家にとって作品を造る場所の有り様が作品を造るとも言えます。それは非常に個人的で作品を密かに造り、隠す場所でもあるが、同時に作品を公にしていこうとの方途を含んでいる場所です。このように書いてみると倉敷に来てから約10年間は、作品制作にかけるエネルギーとほぼ同じ程度、もしくは、それ以上のエネルギーを場所の創造に費やしているように思えてなりません。

11年の間に、大学だけでなく、同じ彫刻の分野や美術の分野に限らず多くの方々と知り合いになりました。特に勤務している大学の卒業生はもちろん、この地域で作家をめざして活躍しようとしている若い人々と出会えた事は幸いです。そこで農業倉庫をCAJUと名付け、周囲に植樹した果樹園の収穫時に若い人々に様々なイベント企画や展示、ミーティングに使っていただくようにしました。もちろん学生の歓迎会やコンパや栗拾いなど何回か使っています。

## イベントに参加して

### ～ コンサートに足を運んで～

岡山城東高等学校2年音楽系 梅 村 知 世

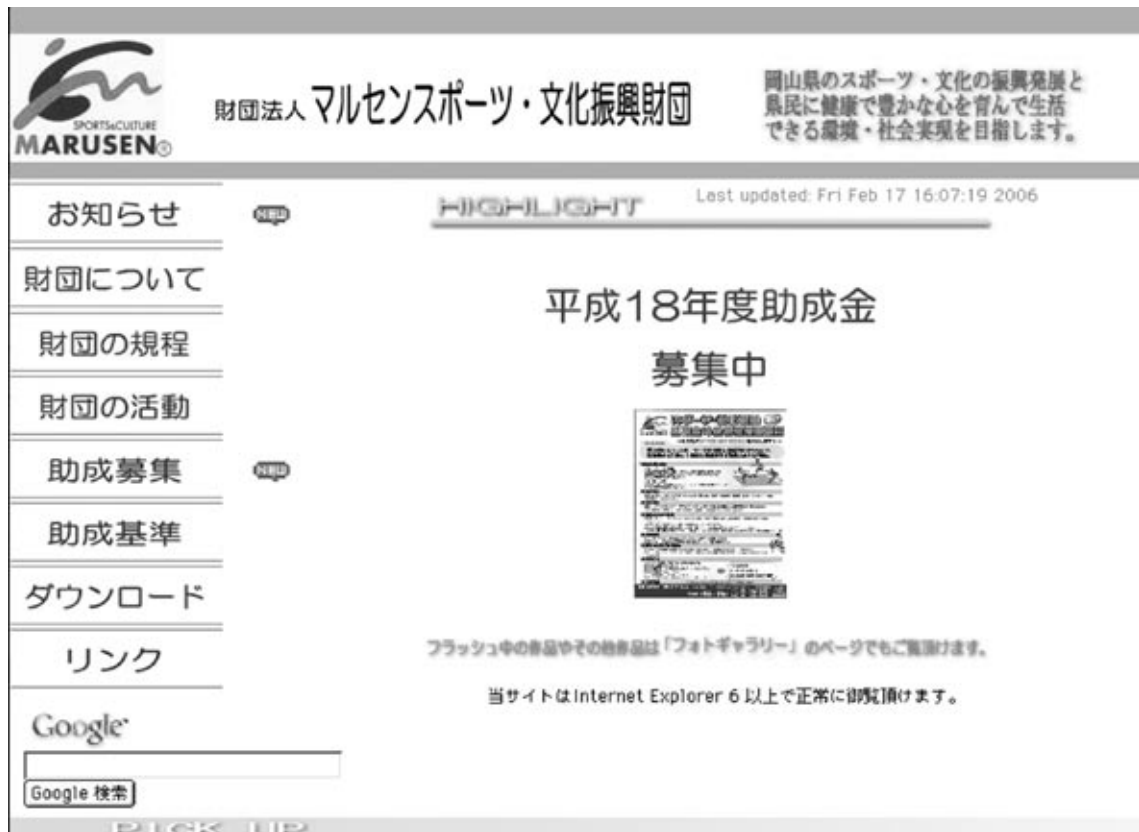
音楽の授業の時に先生が「松本和将君のコンサートにチケットが有るので行きませんか?」とおっしゃった時、私は迷わず行きたい!! と思いました。私は、松本さんがベートーヴェンのコンチェルトを一日で三曲演奏すると聞き、とても驚きました。そしてこんな素晴らしいコンサートに行かないわけにはいけないと思いました。

当日、私は本番が近づくにつれワクワクしました。そしてとうとう照明が落ち…、松本さんが登場しピアノの前に座りました。シーンとしたホールに響いた最初の音は、言葉で表せないような柔らかい心に残る音でした。その瞬間私は、このコンサートに来てよかったなぁという気持ちになりました。幸福感に包まれた4番のコンチェルトが終わると、次は3番のコンチェルトでした。この曲は、私が数日後にこのシンフォニーホールの舞台上で弾く曲だったので、特に集中して聞けました。ベートーヴェンらしい鼓動のような情熱と対照的な静けさは見事に変化していました。休憩を挟み、オーケストラだけで演奏された序曲も素晴らしいものでした。そして再び松本さんが登場し「皇帝」の演奏が始まりました。力強いスケールから始まり、オーケストラとの調和は見事でした。歯切れの良いテクニックの中に豊かな表現力がありました。コンサートが終わった時、まだまだずっと演奏を聴いていたいと思い、心の中まで満腹感でいっぱいになりました。

オールベートーヴェンという難しいプログラムで聞き手を満足させることのできる松本さんはすごいなと思いました。とても良い勉強になりました。また、このような機会が有ったら、進んで足を運びたいと思います。本当にありがとうございました。

## ◆第6章 スポーツ・文化に関する広報、啓発事業◆

### 1. ホームページの開設



URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

開 設 平成18年2月2日

### 2. 機関紙 「マルセン」2号の発刊

平成18年3月吉日

### 3. ロゴマークの募集

当財団発足2年目を向かえ、県民の方々に財団がより一層親しんでいただけるよう「親しみやすく、見やすく、分かりやすい」ことを念頭にロゴマークを募集いたしました。

その結果多数の方からご応募いただき、ありがとうございました。

応募総数 113点

審査会を開催し、慎重審議した結果、下記の3点の作品に決定し、最優秀賞1点、(副賞30万円) 優秀賞2点(副賞各5万円)を選考決定しました。



最優秀作品

倉敷市 平松 啓司

#### コンセプト

選手がテープを切るシーンをイメージし、目標に達成した時の喜びを表したロゴマークです。ロゴ中央のスポーツをしている人物は、同時にCulture(文化)の頭文字である「C」を連想させるポーズにさせ、それをM型のテープが暖かく包み込んでいます。



優秀賞作品

藤村 宏一

#### コンセプト

スポーツ・文化活動のエネルギーで躍動感のある姿を花開くイメージで表した。中央に人の顔を太陽の色で配し、マルセンのMを花びらとして、努力する人たちをマルセンのサポートで花開かせるイメージに見立てている。Mの赤色はマルセンの岡山県のスポーツ・文化振興にける情熱を、花びらの間の青色と緑色は花(財団の事業)が大きく開く方向性と活動が行われる空、海、陸の色を使用している。



優秀賞作品

赤木 亜衣

#### コンセプト

スポーツというものは、1人ではなく2人以上でするものだと思います。もちろん1人でするという練習課程があったとしても、性・国・年齢を問わずいろいろな人と交流できる手段だと思います。

楽しむという目的、自分の限界に挑戦…いずれにせよ1人より2人より…3人の方がもっとつながりを深められる…(文化についても)

という思いを込めて見ました。そして、人の形に見えるように工夫し、マルセンの「M」を使用しました。



## ◆事業の記録◆

### 1 表彰の記録

◎第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

回 数	区 分	賞	氏 名	種 別
1  H16.12.14	スポーツ	大 賞	武 富 豊	陸 上 競 技 / 監 督
		賞	土 井 美智江	水 泳 競 技 (マ ス タ ー ズ)
			藤 原 佳 市	体 操 競 技 / 監 督
			柳 井 清 志	ソ フ ト ボ ー ル 競 技 / 監 督
	文 化	大 賞	高 橋 秀	現 代 美 術
		賞	粟井春日歌舞伎保存会	伝 統 芸 能
			岡山フィルハーモニック 管弦楽団	音 楽
			松 本 和 将	ピ ア ニ ス ト

### 2 助成の記録

◎交付式(平成16年12月14日)

回 数	区 分	予 算	応募数	助成数	助 成 額
1	スポーツ	100万円	31	10	1,000,000円
	文 化	100万円	15	9	853,000円

・晴れの国おかやま国体 100万円 累計 20件 2,853,000円

### 3 イベントの記録

年 度	区 分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金 額
16	スポーツ	第23回 山陽女子ロードレース大会	H16.12.23	—	—	105万円
	文 化	岡山フィルハーモニック 管弦楽団 第26回定期演奏会	H17.3.11	710件	50組 (100名)	36万円

◆平成16年度収支決算書◆ (平成16年2月27日から平成17年3月31日まで)

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 定 額
基本財産運用収入	100,000	0
寄 付 金 収 入	117,600,000	125,799,398
雑 収 入	0	2,304
収 入 合 計	117,700,000	125,801,702

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 定 額
事 業 費	9,500,000	9,500,000
管 理 費	1,700,000	1,441,389
基本財産預金支出	100,000,000	100,000,000
予 備 費	1,000,000	153,160
支 出 合 計	112,200,000	111,094,549

3 次年度繰越金 14,707,153円

◆ 貸 借 対 照 表 ◆ (平成17年3月31日現在)

科 目	金 額		
<b>I.資 産 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
流動資産合計		15,156,416	
2 固 定 資 産			
基本財産合計	100,000,000		
固定資産合計		100,000,000	
資 産 合 計			115,156,416
<b>II.負 債 の 部</b>			
1 流 動 資 産			
流動負債合計		449,263	
2 固 定 資 産			
基本負債合計			
負 債 合 計			449,263
<b>III.正 味 財 産 の 部</b>			
正 味 財 産			114,707,153
(うち基本財産)			( 100,000,000)
(うち当期正味財産増加額)			( 114,707,153)
負債及び正味財産合計			115,156,416

平成17年度 マルセン 2号

発行日／平成18年3月10日

発行所／財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団

所在地／〒700-0031 岡山県岡山市富町2丁目4番4号

電 話／(086) 214-3585 ファックス／(086) 214-3583

URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。

